

生け花を始めて70年。長くも短くもある最高の『生け花人生』でした。

## 花だけの人生で終わるかと思ったけど… 新しい仲間たちと金谷デイに行く事が今の楽しみです。

もとやま **本山 みささん** 昭和2年生まれ 91歳 / むつ市宇田町出身

私の小径

本山みささんは2018年から「みちのく金谷デイサービスセンター」を利用していています。

みささんはむつ市宇田町の賑やかな家庭に、5人きょうだいの長女として生まれました。

小学校6年生のとき、学校の代表として参拝した伊勢神宮のきれいな五十鈴川の流れ、玉砂利の音、大鳥居や神聖な拝殿に感動を覚えたことは、今となっては良い思い出となっています。

終戦後は東北財務局の大湊管財支所へ就職。24歳のとき、同じ職場で働いていた2歳年上の彦司さんと結婚しました。

19歳のときに友人に誘われたことがきっかけで、大湊にある池坊流派の生け花教室へ通い始めます。当時は花材が豊富ではなく、山から枝ぶりの良い柳、松の枝、四季折々の庭の花などを持ち寄って稽古をしていました。

休むことなく教室へ通い続け、先生と一緒に池坊八戸支部の月例講習や稽古へも通いましたが、みささんが38歳のときに先生が急逝します。戸惑いもありましたが「あなたが後を継ぎなさい。」と、八戸支部長からの励ましもあり、華道教室を開くことにしました。

学ぶ側から教える側になり、生け花の勉強が足りないことを痛感したみささんは、京都にある池坊の学校への入学を決意します。しかし、当時は子供の小学校入学に加えて、自宅の新築など大変な時期でした。入学を諦めようとも思いましたが、夫の勧めと支えもあって「生け花の奥深さを学ぶことができました。」

生け花を習う生徒は、当時の好景気も追い風となり増えていきました。みささんはむつ市内の教室やサークルで生け花を教えたり、京都の学校で学んだり、とても忙しい毎日を過ごしました。

長年の功績が認められ、池坊から「総監督」を、むつ市からは「むつ市文化賞」を頂きました。

「よく続いたものだと思います。私がこうしているのも、全て夫の協力があつてこそです。夫には本当に感謝してもきれません。」

みささんは85歳のときに転倒し、頭と腰を強く打った後遺症で難聴になってしまいました。年齢のこともあり、昨年、生け花教室を閉めました。「デイサービスで花を生けたり、利用者の仲間たちと一緒に過ごせることが何よりも楽しい。」

今まで忙しい日々を過ごしてきたみささん。これからは彦司さんや仲間たちと、ゆっくり穏やかな時間を暮らします。 記/渡邊 奈美子

## 青森社会福祉振興団 日仏医療マネージメント研究会視察報告③

フランスでは安楽死は認められていません。しかし、2016年に「積極的医療の禁止」を認める法律が制定され、終末期医療についての啓蒙活動などを行う国立終末期医療センターも設立されました。

「積極的医療の禁止」とは、本人の意思のもとに終末期における積極的な治療を中止することで自然に最期の時へと向かわせることを意味し、「深いセデーション(鎮静)」と呼ばれます。どの段階で深いセデーションを適用するかを明確化するためビングウィル(自分の終末期医療に関する意思表示)を書くことも法律で定められました。自己決定させる時期によっては死を積極的に早めることにも繋がりがかねないため、時期の見極めが重要となります。

フランス国内にはMAMA(マイア)と呼ばれる地域包括ケアセンターが300カ所設置され、生活期の医療・介護を支えています。医療と介護サービスの受付窓口が異なるフランスにおいて、窓口を一本化することで利用者がスムーズにサービスを利用できるようにすることが主な役割です。日本ではケアマネジャー(介護支援専門員)が利用者のサービスを細かく計画しますが、MAMAではソーシャルワーカー(社会福祉士)が利用者の大まかな計画を立てるのみです。「日本のように細かな計画を立てる職種があれば、フランスで困難事例は少なくなると思う。日本は丁寧だ。」とMAMAの責任者は話します。

また、介護事情は地域により大きく異なります。パリが位置するフランス北部は現役世代が多いため、在宅での家族による介護が難しく施設入居が多くなります。一方、南部には老後を過ごすために移住した人が多く住むため在宅での介護が一般的で、訪問系の介護サービスが充実しています。今回訪れた富裕層向け施設は入居費用が月額約60万円と高額ですが、エントランスや専用の通所施設、レストラン、アルツハイマー型認知症対応のフロアなどがあり、高級ホテルにいるようなとても自由で開放的な印象を受けました。

最後に訪れた南部の町。マントン市はフランスでもっとも高齢化が進んだ町です。60歳を過ぎた高齢者が人口の3割以上を占めますが、80歳を過ぎても元気な方が多く、介護を必要とするのは90歳を超えてからがほとんどだといわれています。元気な体と家族の介護力が町を支えているのだと知りました。



施設内であることを忘れてしまうほど高級感の漂うレストラン



フランスの真珠とも呼ばれ観光地としても有名なマントン市

今回の視察により両国の医療・介護事情の違いや日本が誇れる部分、フランスを見習うべき部分を知ることが出来ました。日本が超高齢社会を乗り切るためには、国民一人一人の意識改革が鍵となるのかもしれない。 記/山田 有貴子

やさしい街づくりを応援しています。

シリーズ ご存知ですか?こんな部屋

### 部屋探訪!

リハーサル室2

ダンスや楽器演奏などに

下北文化会館 ☎22-8411

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 **ニツシヨク**

NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目 13-35  
電話 (0175) 22-7222  
FAX (0175) 22-7081

経営のお役に立つ

**あおきんリース**

むつ支店

〒035-0051 むつ市新町 28-17  
TEL.0175-23-0171  
http://www.aogin-lease.jp

### 「認知症カフェ」開催のお知らせ

「むつ市地域包括支援センターみちのく」ではむつ市委託事業として「認知症カフェ」を開催しています。

認知症に関心のある方、認知症予防について知りたい方、認知症の方やその家族はもちろん、地域の方も大歓迎です。参加無料、予約不要です。お気軽にお越し下さい。

●場所

①認知症カフェまるめろ(むつ市十二林8-10)

●毎月第4金曜日

②あんどカフェ(福寿荘/むつ市川守町5-9)

●毎月第2水曜日

●開催時間

10時~12時(時間内は出入り自由)

●お問い合わせ

むつ市地域包括支援センターみちのく  
電話/0175(23)7930

ペルティウィの日記



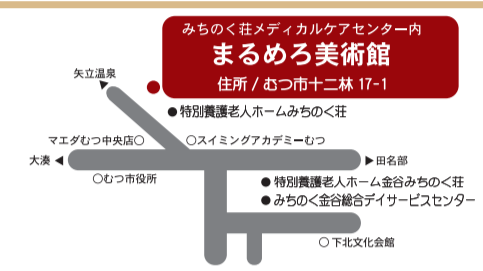
出身地 インドネシア共和国 スマトラ島 メダン (ジャカルタ市から飛行機で2時間)
趣味 カラオケ、料理

ペルティウィさん(通称ティウィさん)はEPA(経済連携協定)第9期生として、2017年12月に当法人に来たインドネシア人介護福祉士候補生です。「みちのく十二林ショートステイ」で働きながら介護技術を学んでいます。友人が帰国して少し寂しい気持ちもありますが、春の陽気がティウィさんの心を明るくしてくれました。大好きなカラオケは日本語の勉強も兼ねたストレス発散方法。温かいスープで英気を養い、今日も笑顔で頑張ります。

こんにちは、ペルティウィです。むつ市に住んで1年になります。日本の四季をたくさん感じました。すべての季節が美しいと思います。しかし、私の中では冬は少し苦手でした。それは、仕事に行く時に何度が滑ったことがあるからです。日本に来る前は、とても雪を見たり触りたいと思いましたが、家を出る時とても大変な気持ちになります。強い風と雪が降っている時は、時々道路の脇に立ち止まります。しかし、それも私にとっての大切な思い出だと思います。そして冬が過ぎると、もうすぐ桜が咲きますね。とても楽しみです。たとえ大変なことがあっても、利用者さんのために自分を元気にして頑張らなければいけません。みなさんも風邪に気を付けて下さい。これからもよろしくお祈りします。ティウィさんの自筆です。



関野準一郎記念 まるめろ美術館ご案内 「季節を彩る花物語」展
期間/2月8日(金)~6月4日(火)
開館時間/10:00~16:00
資料代/300円(中学生以下無料)
休館日/第一水曜・第一木曜・土・日・祝日・年末年始



みちのく荘で働く仲間たち 第4回 診療放射線技師

診療放射線技師ってどんな仕事?
診療放射線技師は、病院や診療所などの医療機関において、医師または歯科医師の指示のもとで主に放射線を用いた検査及び治療業務、これらの業務に必要な機器やシステムの管理などを行う、国家資格を有する医療職です。放射線を用いる業務の代表例としてX線検査、CT検査、バリウム検査、マンモグラフィーや放射線治療などがあり、このような装置を扱っているのが診療放射線技師です。



名前:能渡 電洋
出身地:青森県風間浦村
所属:みちのくクリニック

能渡技師は2016年にみちのくクリニックへ入社しました。クリニックとしては珍しくCTがあり、高度な医療にかかわることができる考えたからです。診療放射線技師の業務は様々あり、それぞれ特有の検査があるため、それに応じた対処の仕方を習得しなくてはなりません。技師には良い意味で広く浅い知識が求められます。医療知識や情報を事務職や医師を通して得ることもあり、学びは尽きることがありません。また、コンピュータの進化は放射線医療機器にダイレクトに影響しており、常に最新の情報・技術が身近にあります。今、最も注目されているのはAI(人工知能)やdeep learning(深層学習)技術です。一部臨床の場で使われていますが、将来は多くの医療機器への応用が期待されています。これらの機器を医師の指示のもと、メインに操作・管理するのが放射線技師であり、責任とやりがいのある仕事です。能渡技師が仕事をしていて心がけるのは、CT検査をして異常を発見した時、そこでとどまらずに他にも異常なところがないか、注意深く画像をチェックすることです。患者が自分の身内だったらと思って観察すると、より注意深くなります。現在、クリニックでは単純CT(注)しかできませんが、能渡技師は「患者の検査時間の負担を減らすためにも、血管内に薬を入れながらの造影CTやMRIを導入できればいいな。」と話してくれました。(注)単純CTとは造影剤を使わない検査のことです。

「利用者においておいしい天ぷらを食べて、喜んでほしい。」という思いがメニュー開発のきっかけとなりました。天ぷらは高齢者に大人気で、行事やお祝いの席には欠かせません。しかし嚥下能力が弱った人には固くて噛めなかったり、喉に詰まる危険性があるため、天ぷらをミキサーにかけペースト状にして提供しなければなりません。『利用者においておいしい天ぷらを食べて、喜んでほしい。』という思いがメニュー開発のきっかけとなりました。

このコンテストは「嚥下食」(食べものを飲み込むことが難しい方のために、歯茎で潰せるように柔らかく、飲み込みやすい状態にした食事のこと)のメニューを創作し、一般料理、デザート、行食の3部門で競うものです。天ぷらは高齢者に大人気で、行事やお祝いの席には欠かせません。しかし嚥下能力が弱った人には固くて噛めなかったり、喉に詰まる危険性があるため、天ぷらをミキサーにかけペースト状にして提供しなければなりません。

嚥下食は一般的に料理に水を加えてミキサーにかけるので、水分が非常に多くなり、「水と油」という言葉があるように油との相性が悪いいため、油で揚げた調理する嚥下食は初めての試みでした。コンテストの審査員から「レシピを見て仰天した。嚥下食のこんな調理法は聞いたことがない」と、獨創性について高い評価を頂きました。別の審査員からは「天ぷらの調理は難しいだろうし心配だったが、試食して驚いた。感動した。」という賛辞の言葉を頂戴しました。グランプリを目指し、来年も挑戦したいと思えます。記/小笠原 敬

2020年新卒採用募集 開始のお知らせ
青森社会福祉振興団では、2020年新卒採用募集を開始します。募集職種の求人内容は、当法人ウェブサイトに採用情報を参照ください。募集職種:介護職/高校・専門学校・短期大学・大学、正看護師/専門学校・短期大学・大学、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士/専門学校・短期大学・大学、総合職(国内もしくは海外事業・事務系)/大学、調理員/専門学校・短期大学、医療事務/専門学校・短期大学・大学、雇用形態:正職員(試用期間6ヶ月)、応募資格:①2020年3月卒業予定者、②卒業後概ね3年以内の学卒者、その他:下北郡外からの受験者で、ホテル等に宿泊される方は、宿泊費5000円(一律)を補助します。お問い合わせ:社会福祉法人 青森社会福祉振興団 人材部 人事セクション/木村 電話/0175(23)1600



(写真左から)小笠原調理員、村田調理員

ENEOSグローブエナジー株式会社
お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。
ENEOSグローブエナジー株式会社
URL http://eg-energy.jp/
むつ支店:むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

谷川環境衛生開発(株)
し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業 一般・産業廃棄物収集運搬業 下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業
代表取締役社長 谷川 聡
本社:むつ市新町 41-1
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修
株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横迎町 2-9-13
TEL 0175-22-9511

法人公式SNSははじめました!
青森社会福祉振興団では、公式SNSをはじめました。法人のイベントや採用情報、日常のことなどを配信しておりますので、ぜひご覧ください!
たくさん『いいね!』や『コメント』をお待ちしております!
スマートフォンをお持ちの方はこちらのQRコードからもアクセスできます。